



## 受験プランを立てよう～自分の受験プランを考える～

勝負の2学期中間テストもあっという間に終了しました。多くの生徒が受験に対する意識も高まり、これまで以上に努力して臨んだ中間テストだったと思います。結果が戻ってきたら、しっかり見直し、次の期末テストに向けて更に質を高めた学習につながるようにしていきましょう。

さて、いよいよこれから自分の受験校を具体的に決定していく時期に突入していきます。11月には三者面談もあります。それまでに自分の受験プランを立てておきましょう。受験にあたっては、自分のやりたいこと、夢や希望を実現できるかなどの視点をふまえ、3年間通うことを意識して、志望校を選んでいきましょう。第一志望校が公立高校か私立高校かによって、その受験プランも変わってきます。以下の点に気を付けてください。

### ①原則として公立高校は1回しか受けられない

埼玉県立高校は、「一般募集入学者選抜」の1回しか受検の機会がありません。したがって、公立高校を複数受検することはできません。公立高校に入学したいと考えている場合は、どの高校を受検するか慎重に選ぶ必要があります。ただし、出願後に志望倍率等を見て、1回だけ志望先を変更できます。

### ②私立高校を複数受験する場合は受験日に注意

埼玉県内の私立入試は1月22日、23日に集中しています。私立高校を複数受験する場合は、受験日が重なっていないことを確認しておかなければなりません。ただし、受験日を複数設定している私立も多いので、上手にスケジュールを組みましょう。

### ③受験区分に気をつける

私立入試では、おおむね「単願・併願・一般」などの受験区分があります。受験区分によって入試日が異なる場合もあるので、スケジュール立ての際にも注意が必要です。

### ④併願校の選び方

併願校には合格の可能性が高い学校を選びましょう。もし併願校を複数受験する場合でも、少なくとも1校は、合格の可能性が高い学校を選ぶことです。個別相談では、合格の可能性や合格の可能性を高める方法などを相談できます。必ず参加しましょう。

### ⑤併願校に入学することになっても、3年間前向きに通える学校を選ぶ

受験は何が起こるかわかりません。そのため併願校は「もし行くことになっても後悔しないで3年間通うことができる高校」でなければなりません。その学校で過ごす高校生活を具体的に想像して、第二・第三志望校も、入学後に前向きに通える学校を選びましょう。

## 具体的な受験プランは？

### ◎公立高校が第一志望の場合

公立高校は、多くの私立学校とは異なり、入試相談などはありません。そのため、たとえどんなに学力レベルで余裕があると思われる学校でも油断はできません。併願校へ入学することも十分視野に入れた上で慎重に検討しましょう。私立高校を併願する場合は、併願可能な入試を1月下旬から実施しているかどうかポイントです。1月下旬の早い時期に合格が得られれば、その後の公立入試にゆとりを持って臨むことができます。

### ◎私立高校が第一志望の場合

私立高校が第一志望の場合、志望校に「単願推薦」や「単願入試」がある場合は積極的に利用しましょう。多くの私立高校が推薦の目安を設けていますので、事前の個別相談会などにおいて合格の可能性を聞くこともできます。また、単願入試であっても、当日の試験で不合格になることもあるため、留意しましょう。単願入試で不合格になったとしても、一般入試があり、同じ高校を受験することができるパターンもあります。

# 令和7年度埼玉県公立高等学校入学者選抜における受検生心得

10月1日付けで埼玉県教育委員会より、受検生心得が発表されました。以下掲載しますので、しっかり確認をしておきましょう！

## 1 学力検査（追検査）について

(1) 実施日 令和7年2月26日（水）（追検査 令和7年3月3日（月））

(2) 集合時刻 午前8時45分

### (3) 日程

時間	8:45~9:20	9:25~10:15 (50分)	休憩	10:35~11:25 (50分)	休憩	11:45~12:35 (50分)	昼食	13:30~14:20 (50分)	休憩	14:40~15:30 (50分)
教科等	一般諸注意	国語		数学		社会		理科		英語

### (4) 携行品

受検票、鉛筆、消しゴム、三角定規、コンパス、弁当、上ばき及び志願先高等学校長が指示するもの。

検査時に使用するもの	携行してはいけないもの
○鉛筆 (シャープペンシルも可とする。) ○消しゴム ○三角定規 (直定規も可とする。) ○コンパス	●学力検査に必要なものないもの ●学力検査の公平性を損なうおそれのあるもの (例) 下敷き 分度器（もしくは類似機能を持つ文具類） 文字、公式等が記入された定規等 和歌や格言等が印刷された鉛筆等 色鉛筆、蛍光ペン、ボールペン 計算機、計算機能や辞書機能等のある時計 携帯電話等の電子機器類 (時計がわりの使用も認めない。)
検査時に使用を認めるもの	
○計時機能のみの時計	

(注意1) 受検票は常に携行し、検査中は定められた場所に置くこと。

(注意2) 学力検査時の時計は検査会場によっては掲示しないことがある。時計がなくても検査中に時間の経過を伝える。

## 2 実技検査について（実施する場合のみ） 実施校は選抜基準等で確認すること

(1) 実施日 令和7年2月27日（木）

(2) 集合時刻 原則として午前8時45分とする。

(3) 携行品 受検票及び志願先高等学校長が指示するもの。

## 3 面接について（実施する場合のみ） 実施校は選抜基準等で確認すること

(1) 実施日 令和7年2月27日（木）

なお、不登校の生徒などを対象とした特別な選抜にあつては、令和7年2月26日（水）に実施する場合もある。

(2) 開始時刻 原則として午前9時とする。

(3) 携行品 受検票及び志願先高等学校長が指示するもの。

## 4 志願先高等学校への集合等について

(1) 志願先高等学校へは、余裕をもって早めに到着するようにすること。

(2) 交通事故等にあわないよう、十分注意をすること。

(3) 学校に着いたら、掲示されている案内図や諸注意をよく読み、係の先生の指示に従うこと。

(4) 遅刻をした場合は、すみやかに係の先生に申し出て指示を受けること。

(5) 急病や事故など、やむを得ない事情により受検できなくなった場合は、すみやかに出身中学校長を経て志願先高等学校長に連絡すること。（中学校の電話番号を控えておくことよい。）

## 5 入学許可候補者の発表等について

(1) 令和7年3月6日（木）午前9時に、ウェブによる合否照会システムにて発表する。

(2) 入学許可候補者は、受検票を持参し、志願先高等学校長から必要書類を受け取ること。

**※ 集合時刻や携行品などについては、必ず志願先高等学校長の指示に従うこと。**